



# 敬愛

令和3年5月24日

文責 輿石 信

第3号



「敷島中ホームページ」へ

## 保護者の皆さまとフェイス・ツー・フェイスで。

～授業参観(4/30)・家庭訪問(5/17～21)ありがとうございました。～

梅雨入りの予感を感じさせる曇天、雨天が続くこの頃です。令和3年度がスタートし、2ヶ月が経過します。新型コロナウイルス感染予防にはまだまだ気を抜けない毎日ではありますが、子供たちは元気に登校し、日々、授業や部活動等に励んでいます。私も、時間を見つけては、各学級に足を運び、子供たちの学習や先生との関わりの様子を見ています。4月当初に比べ、どの学級も先生との距離が縮まり、親和的な雰囲気の中で授業が進められています。

先月の30日には、昨年度は実施できなかった授業参観を行い、たくさんの保護者の皆さまに学校にお越しいただきました。感染予防のため1グループ20分程度の短い時間ではありましたが、子供たちの実際の学校生活の様子を見ていただくことができました。「百聞は一見に如かず」ということわざがありますが、“学校が多くのことを語るよりも、実際の子供たちの姿や学校の様子を見てもらう”ことが、学校や子供たちの現状を理解してもらうには一番であると考えています。お仕事のやりくりをつけて多くの方に参観していただけたことは、本当にうれしい限りです。同時に、保護者の皆さまの学校に寄せる期待や関心の高さを改めて知り、“一人一人の子どもにとって一日一日の学校生活が有意義なものとなるように努めていかねばならない”という思いを新たにしました。参観当日は学校全体が活気に満ち、保護者の方からたくさんのエネルギーをもらった感じがしました。“学校は、子供と教師と、それに保護者が加わってこそ成り立つもの”であることを実感しました。本当にありがとうございました。



また、先週は、全家庭を対象に家庭訪問を実施しました。感染予防のため、玄関で10分という短い時間ではありましたが、家の場所や地域の環境を知ることができ、有意義な時間となりました。そして、保護者の皆さま一人一人と顔を合わせて話げできたことで、一人一人の子供に対する理解が深まったことが何よりもありがたいことでした。今後の学校生活や、子供たちの指導や支援に生かしていきたいと思っております。今回の訪問が無事に実施できましたのも保護者の皆さまの理解があつてのことであると感謝しております。

コロナ禍により接触や対面の機会が制限されている状況ではありますが、だからこそ、子供の成長



をしっかりと支え、後押しをしていくためには、保護者の皆さまと私たちが確かな信頼関係を作っていくことが、平時にもまして大切であると考えています。感染予防を第一に考えながら、学校と保護者の双方が創意工夫や知恵を寄せ合う中で教育活動を進めてまいりたいと思っています。

保護者の皆さま、今後とも、フェイス・ツー・フェイスの関係づくりにご協力ください。よろしくお願いたします。